

重要な指標である。したがってこれらの指標を適切に組合せることによって住民の福祉を総合的に把握し、これをもって地域開発、特に社会開発の具体的な目標設定の基準と効果測定の尺度とすることが必要である。

最後に地域開発センターの設置を提案したい。それは立ちおけている社会開発など地域開発に関する総合的調査研究のほか、公害、環境衛生などのシビルエンジニアリングの研究、アクションリサーチ、すぐれたプランナーの養成訓練、生活指導、カウンセリング、産業保健サービスなどを行なうとともに、コミュニティデベロップメントの中心機関となるもので、国、地方自治体、企業、大学、研究所等公私の機関が共同で中央及び開発地域に設置することが望ましい。現在の地域開発ほど巨大な社会的実験はない。その過程において社会的にも経済的にもわれわれがこれまで経験したことがない多くの困難や摩擦が生ずるであろう。しかも地域開発は人口、産業、経済、労働、都市、農村、土木、建築、保健衛生、社会福祉、社会保障等広範な分野に関連する問題であり、各分野の専門家の共同による研究と対策が必要である。地域開発センターはこのような研究と対策の一つの強力な根拠となるであろう。

人口問題研究会創立30周年記念公開講演会の開催

財団法人人口問題研究会（理事長 永井 亨博士）は、昭和38年10月27日で創立満30年を迎えたが、これを記念する事業の一つとして、日下いよいよ重大性を加えつつあるわが国の人口問題に関する認識をいっそう広めるため、10月26日午後、毎日新聞社新館ホールで、同研究会主催、毎日新聞社人口問題調査会後援のもとに公開講演会を開催した。講演次第は下記のとおりであるが、約3時間にわたる諸講演は、多数の一般参加者のもとに盛大裏に終了した。

- 1 開会のあいさつ……………財団法人人口問題研究会理事長 永 井 亨
- 2 あ い さ つ……………厚生次官 太 宰 博 邦
- 3 講 演
- (1) 地域開発と人口問題……………倉敷レイヨン株式会社社長 大 原 総一郎
- (2) 人口資質の向上について……………社会事業大学教授 岡 崎 文 規
- (3) 世界の人口問題……………外務省顧問 那 須 皓
- 4 閉会のあいさつ……………厚生省人口問題研究所長 館 稔